

表6. 大学院博士課程修了者の就職状況(男女別)

年次	修了者数	就 職 者						無 業 者		そ の 他
		専 門 的 技 術 的 職 業			そ の 他	計	就 職 率 %	無 業 者	無 業 率 %	
		大学教員	教 員	技 術 者						
総 数	2,061	711	65	442	50	1,268	61.5	685	33.2	108
1965 男	1,945	683	59	428	50	1,220	62.7	642	33.0	83
女	116	28	6	14	0	48	41.4	43	37.1	25
総 数	3,152	1,106	44	770	68	1,988	63.1	846	26.8	318
1970 男	2,978	1,057	40	741	60	1,898	63.7	792	26.6	288
女	174	49	4	29	8	90	51.7	54	31.0	30
総 数	2,757	949	89	606	177	1,821	66.0	708	25.7	228
1974 男	2,570	896	80	576	172	1,724	67.1	650	25.3	196
女	187	53	9	30	5	97	51.9	58	31.2	32

表2に示したように、大学院博士課程修了者は全体としても慢性的な就職難にさらされているが、その中でも男女の較差が認められる。女子の就職率は男子に比べて明らかに低く、無業率は高い。また研究者として大学教員に採用される率も女子が一貫して低くなっている。
(男子34~35%, 女子24~28%)

文部省「学校基本調査」表2をも参照のこと

表7. 1974年度における大学教員の採用転入状況

	計		国 立 大 学		公 立 大 学		私 立 大 学	
	総 数	うち 婦 人	数 総	うち 婦 人	総 数	うち 婦 人	総 数	うち 婦 人
学 長	12	0(0%)	9	0(0%)	0	0(0%)	3	0(0%)
教 授	1,034	11(1.1)	298	1(0.3)	23	0(0)	713	10(1.4)
助 教 授	893	41(4.6)	449	9(2.0)	39	0(0)	405	32(7.8)
講 師	1,315	124(9.4)	388	17(4.4)	51	5(9.8)	876	102(11.5)
助 手	4,317	716(15.7)	1,796	194(10.8)	393	46(11.7)	2,128	476(22.4)
計	7,571	892(11.8)	2,940	221(7.5)	506	51(10.1)	4,125	620(15.0)

大学教員の採用転入状況では、助手層の移動に占める婦人の比率は、はば在職者比率に見合っているが、講師、助教授、教授となるにしたがって、在職者の比率を大きく下回るようになり、婦人の昇任の壁になっている。

なお、助手の移動が多いため、合計の比率は助手層の比率に近いものになっている。

文部省「学校教員統計調査報告書」(昭和49年度)